

ID No.	2081
研究課題名	癌進展と連携する核局在化分子の包括的プロテオミクスによる機能解明
研究代表者	本間 美和子 (福島県立医科大学・准教授)
研究組織	
受入教員	尾山 大明 (東京大学医科学研究所・准教授)
研究分担者	秦 裕子 (東京大学医科学研究所・技術専門員)
研究報告書	
申請者は核におけるCK2(Serine/Threonine protein kinase)機能に着目し生化学・分子生物学的な解析を行ってきたが、ヒト浸潤性乳癌症例を対象とする病理組織化学染色の統計解析から、核・核小体へのCK2α 分子集積が癌予後不良と連携する事を見出した。このため、プロテオミクス研究の第一人者である尾山大明先生グループとの共同研究により、CK2α分子の核内移行ならびに配置に伴う生物学的機能を中心課題として、連携分子の特定等、癌進展と連携する未解明の分子機能を解析する。これまで、FFPE試料でのマス解析は困難であったため、種々の培養細胞株を用いて増殖の時間軸を視野に核内局所の分画を調製し、また、独自に開発したモノクローナル抗体を利用して、翻訳後化学修飾等を含めた定量解析へ資する試料調製条件について検討を進めている。コロナ禍は所属大学規定による県外移動制限によって来所が困難となったが、解析に資する臨床試料の収集を進めているので、今後も継続して解析を進行させる。	